

# 子どもの学びを支える 公共図書館の活動及び今後の展望 ～「夏休み子ども図書ウィーク」の実践から～

静岡県立中央図書館  
館長 高橋 健二



## 【学習指導要領より】

### ◎子どもたちに育成したい資質・能力

- ・ 知識・技能（社会や生活で生きて働く）
- ・ 思考力、判断力、表現力（未知の状況に対応）
- ・ 学びに向かう力、人間性など  
（学んだことを人生や社会に生かそうとする）

## 【学習指導要領より】

### ◎育成したい資質・能力をどのように学ぶか

- ・ 主体的な学び：見通し、粘り強さ、振り返り など
- ・ 対話的な学び：協働、共有、意見交換 など
- ・ 深い学び：課題発見・解決、知識を関連付ける など

★「子ども図書ウィーク」で開催する講座は、まさにこのような学びなのは

# 静岡県立中央図書館における 「夏休み子ども図書ウィーク」について



## 【H23年度から開始した背景】

- 耐震工事等による長期休館の影響で、来館者数及び資料貸出数が減少 ⇒ H21国民文化祭やH22国民読書年に多くの特別展示や各種イベントを開催した結果、来館者数が増加。
- 住民や図書館職員等が講師を務め、大人向け事業に加え、夏休みの学習支援や子ども用資料の利用拡大等を図り、小学生対象の親子向け体験講座を開始。今年で14年目！

## 【令和7年度の開催実績】

- ・ 創立100周年を記念し、例年4～5本の講座数を7本に拡大して実施。
- ・ 現在は、必ずしも図書資料との直接的な関連性は問わない。
- ・ 例年、子どもと家庭・地域の大人の交流の推進につながり、子どもが持ち帰る何らかの具体的メリットがある講座を実施。応募も増加。

静岡県立中央図書館  
(静岡市駿河区谷田53-1)

夏休み **スペシャル** 子ども図書ウィーク

受付無料 申込み必要 定員 各講座15組(先着順) 場所 静岡県立中央図書館3階 中集会室

※当館の利用者でなくても申込み可能です

①7月28日(月)13:00～16:00  
ユニバーサルデザイン絵本手作り教室  
落下傘を作ってみよう！  
触って動く絵本を作ろう！

②8月1日(金)10:00～12:00  
草薙神社龍勢花火について学ぼう！

③8月2日(土)10:30～12:00  
親子で挑戦！英検4級

④8月2日(土)14:00～15:00  
親子図書館ツアー

⑤8月3日(日)10:00～12:00  
作って見せる！工作マジック  
マジックショーに参加しよう！  
これで合格間違いなし！

⑥8月5日(火)10:00～11:30  
ふじっぴーの親子グラフ教室  
ふじっぴーもやってくる！

⑦8月8日(金)10:30～12:00  
親子植物教室  
～種を遠くに飛ばそう！～  
飛びタネを作ってみよう！

詳細情報・申込みはこちら

期: 令和7年7月28日(月)から令和7年8月8日(金)まで  
場: 静岡県立中央図書館、静岡県統計広域圏、草薙神社龍勢保存会  
実: 静岡県読書推進財団、静岡県統計協会、静岡県統計協会  
お問い合わせ: 静岡県立中央図書館 企画課 企画課  
(電話) 054-262-1246  
(mail) waku@shizuoka-central-lib.jp

創立100周年  
静岡県立中央図書館

## ①草薙神社龍勢花火について学ぼう！

【参加者】小4以上（14）、小3以下（6）  
保護者（7）

【内 容】龍勢保存会の方々を講師に招き、  
講義の後、花火に組み込む落下傘を作る。

【制作の様子】グループ毎に各講師が指導。  
和紙に紐を貼り付ける作業に最も苦戦。  
後半は協働作業が多くみられた。絵付けに  
夢中な子どもが多かった。夏休みの自由研究  
としてまとめている子もいた。



## ②作って見せる！工作マジック

【参加者】小4以上（4）、小3以下（11）

保護者（15）

【内 容】市内で活躍するプロのマジシャンを講師に招き、デモの後、好きなマジックの道具を制作。最後に、一時退出した保護者にマジックを披露。

【制作の様子】グループ毎に各講師が指導、工作する部分が複雑な道具ではかなり苦戦した子どもも作りながらマジックの仕組みの理解を深めた、最後の実演では親も子も感動！



### ③親子で挑戦！英検4級

【参加者】小4以上（11）、小3以下（2）  
保護者（12）

【内 容】元高校英語教諭の館長が講師を務め、筆記・リスニングの過去問を解きつつ、解法や学習方法を指導。親子での学びを通して家庭内でのコミュニケーション促進も意識する。また、所蔵する英語の多読用資料を紹介し、音読学習を紹介。

【様子・感想】「親子で相談して考えよう」の指示で、熱心に話し合う姿がほほえましい、「帰ってからも、問題を解いてみます」「親が一方向的に英検を勧めていたが、子どもがやる気になってくれた」「勉強の仕方が分かったので、家庭で実践したい」



# 「学びの支援」・「読書活動推進」に向けて 課題と展望



## ★14年間開催し、結果的に到達した形態

★夏休み期間に、子どもたちが主体的に学習し作成した  
何らかの成果物を持ち帰る**実用性のある講座**

①自由研究や工作物として提出できる具体的成果物があると、  
参加者が集まりやすい。**(モノ)** プログラミング、お茶の淹  
れ方、学習方法などの手法や考え方も持ち帰る成果物となる。  
**(ノウハウ)**

②成果物を家族で一緒に楽しむ。地域の伝統的な文化等につ  
いて学んだことが関連イベントへの参加を促し、地域内交流  
が促進される。**(コミュニケーション・繋がり)**

## ★中高生対象の実用的な講座案

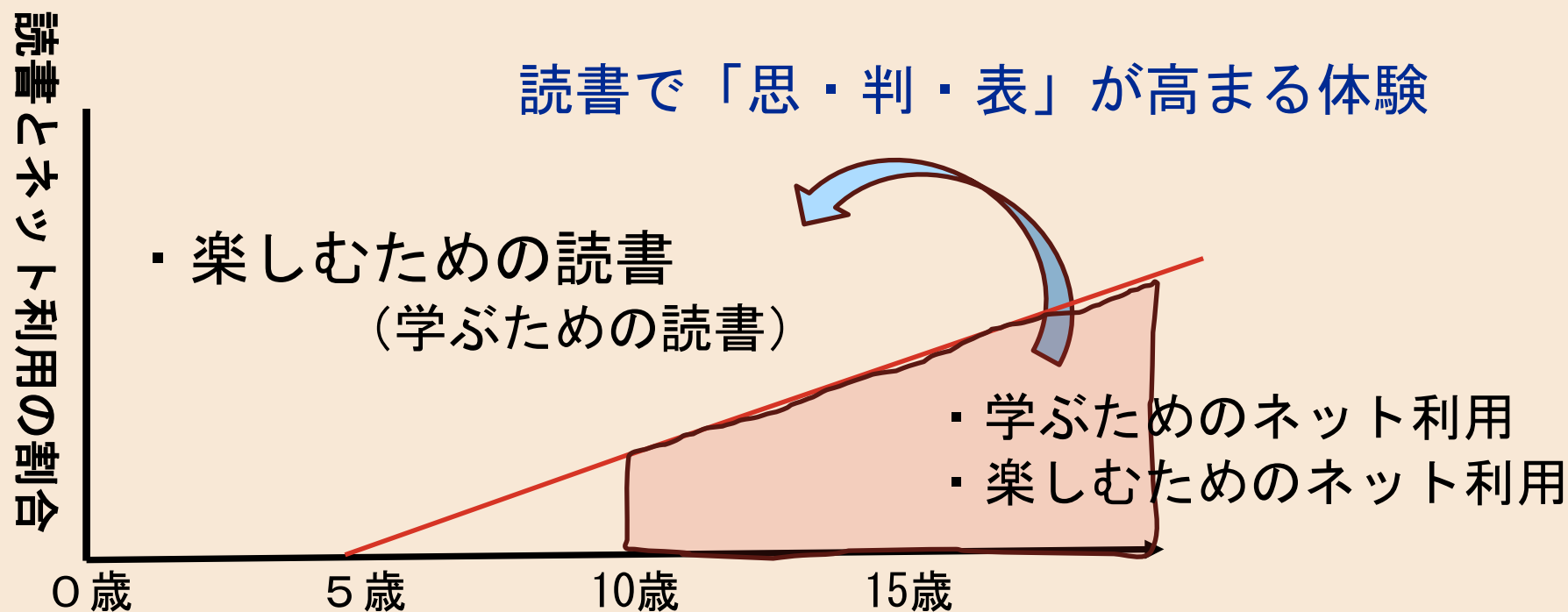
小学生を対象とした「子ども図書ウィーク」のノウハウを活かし、不読率の高さが懸念される中高生対象に、**図書資料の活用につながる実用的な講座**を実施し、読書活動の推進に繋がられないか。

👉 **目指せ！英検3（or 2級）講座**

👉 **目指せ、読み書きの達人！「文章検」講座**

👉 **入試・就職試験の時事問題対策！新聞記事活用講座**

## 【読書とネット利用に関するイメージ図】



★読書によって自己の資質が向上する体験する機会を「学び」の面から提供し、読書活動の喪失状態から子どもたちを救い出す。

目を覚ましていられるかどうかは、読書の目的で決まる。読む目的が、精神や心を成長させるなど、そこから利益を得ることであれば、しっかり目を覚ましていなくてはだめだ。それは最も積極的な読書である。見返りを期待して努力することである。(p.52)

『本を読む本』 M.J.アドラー、C.V.ドーレン 著 / 外山滋比古、榎未知子 訳（講談社学術文庫）